

未来に共につなげよう 公害資料館の



第2回 公害資料館連携 フォーラムin富山

公害教育には、キャリア教育やリスクマネジメント、人権教育に通じる可能性があります。各地の取組みを共有し、資料館の"わ"を広げて、これからの「新しい公害教育」を模索する試みをこの富山のフォーラムで行います。今年のフォーラムでは、共通テーマ「企業とのかかわり方」についても議論を行います。

とき **2014年12月5日(金)~7日(日)**

ところ **富山県立イタイタイ病資料館**
〒939-8224 富山県富山市友杉151 [定員:100名]

参加費 **無料**

スケジュール **12月5日(金) フィールドワーク (先着50名)**

12:00 JR富山駅集合
12:30 富山空港集合
13:00 フィールドワーク開始(富山県立イタイタイ病資料館)
復元田、自主復元田、清流会館、神通川など
17:30 終了予定
18:00 JR富山駅バス下車

12月6日(土) フォーラム 分科会の詳細は裏面

13:00-14:30 オープニング、基調講演
14:45-17:15 分科会セッション1 ② ③ ④ ⑤
18:30-20:30 交流会(会場名)

12月7日(日) フォーラム

9:30-12:00 分科会セッション2 ① ② ⑥ ⑦
13:00-15:00 全体会

※6日と7日は富山駅→富山空港→イタイタイ病資料館のバスを運行します。ご乗車希望の方はお申し込みください。

※イタイタイ病資料館近辺には昼食を購入する場所がありません。昼食を持参か、申し込みをしてください。

主催:公害資料館ネットワーク 共催:環境省、富山県 後援:富山市、富山県教育委員会、富山市教育委員会、日本環境教育学会、日本環境教育フォーラム
事務局:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)

環境省「平成26年度地域活性化に向けた協働取組の加速化事業」全国事業



基調講演

企業との対話の可能性

そのだ あやこ
藪田 綾子さん

株式会社クレアン 代表取締役

NPO法人サステナビリティ日本フォーラム 事務局長

1988年、クレアン設立。1995年頃から、環境・CSRビジネスをスタート。現在、延べ約500社のCSRコンサルティングやCSR報告書の企画制作支援。NPO法人サステナビリティ日本フォーラム事務局長、日経ソーシャルイニシアティブ大賞審査員など。

分科会	タイトル	ゲスト	担当委員(敬称略)	紹介文
① 7日 資料の 保存と活用	公害資料の収集・保存・整理 ～資料にまつわる悩みあれこれ～	尼崎市立地域研究 史料館	小田康徳(西淀川・公害 と環境資料館)／清水万 由子(龍谷大学)	「資料はあるが整理が追いつかない」「活用の仕方が わからない」など各団体の課題を共有し、公文書館機 能を持ち民間資料も扱っている尼崎市立地域研究史 料館の取組み事例を参考に、課題解決のヒントを探り ます。
② 6日 7日 展示	展示室をアクティブに —より良くするためのワーク ショップ	染川香澄さん (ハンズ・オン ブラ ンニング)	田代優秋(あおぞら財団)	展示は研究者・専門家・業者が行うものだけではあり ません。説明文や写真がズラリと並ぶ常設展示はなか なか更新できませんが、“わかりやすく伝えるための魅 せ方”はあるかもしれません。具体的な展示例を題材 に、みんなでアレコレ考えてみたいと思います。
③ 6日 アウトリーチ	地域の資源を活かした学びの 場の展開	嵯峨創平さん (岐阜県立森林文 化アカデミー)	西村仁志(広島修道大学) ／五十嵐有美子(京都府立 大学)	地域に存在する、あるいは埋もれている歴史や文化資 源に光をあて、それらをつないで学びの場を創出する 仕掛けを考えましょう。日本の各地で地域づくりや住 民参加型の調査に関わってこられたゲストから実践手 法を学びます。
④ 6日 企業との 関係づくり	信頼関係構築に向けた目的 の共有化、その創造的解決を 目指して	神岡鉱業株式会社	五十嵐実(日本自然環境 専門学校)／藤原園子(み ずしま財団)	本分科会は、被害者団体と原因企業、資料館が協力し て信頼関係を構築し、共有目的に向かい協力していけ るか神岡鉱業株式会社とイタイイタイ病対策協議会 との長年の立入調査の過程から得られた「緊張感あ る信頼関係」を例にして考えていきたいと思ひます。
⑤ 6日 学校との 関係づくり1	学校カリキュラムの中にいか に公害事件をとりこむか	水上義行さん (富山国際大学)	板倉豊(京都精華大学)	本分科会は学校(小学校、中学校、高校、大学)の限定 された時間割の中に、いかに公害の歴史をカリキュ ラムに取り込むかの工夫の実例を紹介し、具体的に は副読本作成から学びます。
⑥ 7日 学校との 関係づくり2	地元の子どもたちに・「イタイ イタイ病について伝えよう」	柳田和文さん (富山市立宮野小 学校)	高田研(都留文科大学)	宮野小学校は婦中町の中でも、被害が重篤であった地 域にあります。一昨年より2年間、総合的な学習のテ マとしてイタイイタイ病を取りあげてきた実践から学 びます。
⑦ 7日 マネージ メント	公害資料館のパワーアップ! よりよい人材づくりと組織づく りへ	川北秀人さん (人と組織と地球の ための国際研究所)	西村仁志(広島修道大学)	組織を維持、発展させていくために不可欠な運営の基 礎は、業務品質管理、スタッフのマネジメント、広報、会 議、会計の5つです。公害資料館のパワーアップのた めに今、取り組むことについて、講義と個人ワークを通 じて学びます。

公害資料館 ネットワーク 構成団体

(五十音順) 2014/7/10現在

- ・尼崎市立地域研究史料館 ・尼崎南部再生研究室(あまけん) ・イタイイタイ病対策協議会 清流会館 ・一般社団法人あがのがわ環境学会
- ・一般社団法人水俣病センター相思社 水俣病歴史考証館 ・北九州環境ミュージアム ・公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
- ・公益財団法人水島地域環境再生財団(みずしま財団) ・公害被害者総行動実行委員会 ・国立水俣病総合研究センター 水俣病情報センター
- ・富山県立イタイイタイ病資料館 ・新潟県立環境と人間のふれあい館—新潟水俣病資料館— ・水俣市立水俣病資料館
- ・四日市市環境保全課 四日市公害と環境未来館準備室 ・立教大学共生社会研究センター

申し込みフォーム (FAX:06-6478-5885または、メール:webmaster@aozora.or.jpにて送信ください)

氏名	(ふりがな)	TEL	
		FAX	
所属		メールアドレス	
		フィールドワーク参加申込(1,000円)	申込する 申込しない
住所	〒	フィールドワーク 送迎バスの利用	利用する (富山駅から 富山空港から) 利用しない(イタイイタイ病資料館に直接集合)
		交流会(6日夜)参加申込(5,500円)	申込する 申込しない
フォーラム参加ご希望 の分科会名と番号 (先着順。人数調整あり)	6日 第1希望	第2希望	お弁当(7日昼)申込(1,000円)
	7日 第1希望	第2希望	申込する 申込しない
		フォーラム シャトルバス申込	6日 (富山駅から 富山空港から) 7日 (富山駅から 富山空港から)

※個人情報はおおぞら財団にて厳重に管理し、イベントの連絡以外の目的では使用いたしません。

<事務局・連絡先>

公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団) 担当:林、栗本 webmaster@aozora.or.jp
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階 TEL06-6475-8885 FAX06-6478-5885 http://aozora.or.jp/